

鳩

原民喜

青空文庫

鶉居山房と私とは路傍に屈んで洋服屋の若旦那を待つてゐた。別に用事なんかなかったのだが、待つてゐるうちに帰るのがめんどくさくなつた。若旦那は今朝から留守なのださうだから、なかなか帰つては来まい。その通りは人通りも稀れで静かだった。私達は煙草を吸つてぼんやりしてゐた。その時学校から帰る二人連れの小学生がすぐ側を歩いてゐた。そして、小学生の肩の辺に鳩がたまたま飛んで来た。すると小学生は帽子を脱いで鳩を掬はうとした。鳩は大きな羽ばたきを残して屋根に舞上つた。即ち鶉居山房はからからと噂わらひ出した。「蝶々ぢやあるまいし、わーい、わーい。」と彼が嬉しげると、小学生はてれてしまった。これで私達は洋服屋の若旦那に逢はないで帰れる機運が生れた。ところが翌日、その洋服屋は何処かへ夜逃げしてしまつたのだつた。

私が洋服屋の若旦那に逢へたのは、それから四五年後のことだった。ひどい春雨が降りまくる日、思ひきつて彼を訪れてみると、彼はアパートの六畳で運のよくなるならぬのを啣つてゐた。「早い話が、君。」と彼は云つた。「この部屋だつて屋根が漏るんだからね。」と、彼が天井を見上げると、ひどい降りが亜鉛屋根にあたる音とともに、ぼたぼたと畳に

落ちて来る。暫くの間、さうして彼は怨しげに天井と畳を見較べてゐたが、不図雨が漏らなくなつたのに気づいた。

「おや、こいつは変だな、たしかに今雨は降つてゐるのだがね。」

彼が訊ねるまでもなく亜鉛屋根は烈しく鳴つてゐた。

「すると、大きな鳥でも来て屋根に留まつたのかな。」さう云つて彼はひよいと晴やかな顔をした。

青空文庫情報

底本：「普及版 原民喜全集第一巻」芳賀書店

1966（昭和41）年2月15日初版発行

入力：蔣龍

校正：伊藤時也

2013年1月24日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

鳩

原民喜

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>